がんばろう
末崎！
津波なんかに
負けない！

館報まっさき

第３３１号
令和４年７月２０日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話（F 兼）29-2955

獅子舞・権現様・虎舞について

2　獅子と狛犬について

現在日常的に目にする獅子は、どこの神社の境内にもある狛犬と思います。あるいは獅子に乗った文殊菩薩の像や仏具の装飾に使用された獅子の像や絵などがあります。

この獅子・狛犬は長い年月をかけて西域のエジプト、メソポタミア、ミケーネ(現ギリシア)、あるいはペルシャ(現イラン周辺)等の国から主にシルクロードを通って中国に伝わり高麗(朝鮮半島)を経由して日本に伝わったものであります。また、インドで発生した仏教を通して日本に伝わったものもあります。

獅子の像や絵が日本に伝わったのは、仏教が日本に伝わったとされる 552 年頃と思われます。しかし　これは日本書紀に記録されているものを基準しているもので、それ以前に朝鮮半島から日本に移住した人もあるので、これより前に仏教が伝わっていた可能性もあります。

西域では神殿や城門などに獅子像を置いたり彫刻していたものが中国・朝鮮半島(高麗・こま)を通って日本に入ってきたときには、獅子と狛犬が一対に変化して日本に伝わったようです。

平安時代の大治年間(1126 ～ 1130 年)に書かれた本には「左獅子　於色黄　口開　右胡麻犬(こまいぬ)　於色白　不開口　在角」とあり、はじめは宮中の高御座(たかみくら)等の左右に配置されて天皇を守る役割や、あるいは調度品として置かれていたようです。

「右胡麻犬(狛犬)には角がある」と記されています。この様式が神社等にも普及し、最初は室内に置かれていたものが時が経つに従って外に置かれるようになり、木製から石や銅製等に変化し、「獅子と狛犬」だった呼び名も「狛犬」と変化していったものと思われます。したがって古い時代に作られた狛犬の一方には角がついた狛犬が今でも見ることが出来ます。

また、獅子と狛犬だったものが、どちらも獅子になり、阿吽の獅子になり、雌雄の獅子などへと変化してきたものと思われます。（紀）

和歌山県　高野山　一角の狛犬

オミクロン株「BA.5」の特徴

7月15日、全国で10万3311人の新型コロナウイルス感染者が確認された。感染者が10万人超えるのは2月8日以来で、過去2番目の多さである。流行「第7波」の勢いに歯止めがかからない状況である。この急拡大しているウイルスはオミクロン株の「BA.5」といわれる。8月中にはほぼ100%「BA.5」に置き換わるのではないかともいわれている。

「BA.5」の感染力、症状、ワクチン効果に係る NHK の資料によれば、つぎのとおりである。

東京都内の感染状況を分析した国立国際医療研究センターの大曲貴夫国際感染症センター長は6月30日、**再拡大の要因**を4つ挙げた。それは、①**暑さ**（冷房で換気が悪い）②**人出**（接触機会が増加している）③**免疫**（感染あるいはワクチン接種しているが免疫の効果低下の人が増加している）④**変異**（オミクロン株の一種で、「BA.5」はオミクロン株である。「BA.5」は「BA.5」に置き換わっている）

月に南アフリカで確認された後5月以降、欧米を中心に広がった。WHO（世界保健機関）によると、6月中旬の段階で世界で検出された新型コロナウイルスの40%ほどを占めたとされる。日本では、6月2日現在、厚生労働省の報告によると、新型コロナウイルス感染者のうち、オミクロン株の割合は53.6%となった。

「BA.5」は、「BA.2」と比べて、35.1%速く広がっているというのである。

「BA.5」の特徴

海外の情報や国内の感染状況から、わかってきた「BA.5」の特徴を列挙すると次のとおりである。

①「BA.5」はウイルスの表面に通りである。

①「BA.5」の性質

「BA.5」は、細胞に感染する際の突起で、スパイクたんぱく質に「L452R」などの変異が起きていて、**免疫を逃れる性質がある。**WHO によると、「BA.5」は、ウイルスの働きを抑える中和抗体の効果が当初広がったオミクロン株の「BA.1」に比べて7分の1以下になったという実験結果があるということ

「BA.5」に感染した人と「BA.2」に感染した人との間で、ワクチンの効果に大きな違いはなかったと報告している。

東京医科大学　濱田篤郎特任教授は、「BA.5」は、いまで流行しているタイプのオミクロン株に比べて感染力が強く、免疫を持つことがあるが、ワクチンの効果は5月下旬までは、「重症度が増しているという証拠はない」としている。

③ワクチンの効果

ワクチンについて、イギリスの保健当局は5月下旬までに感染した人の1か月余りの間に感染したとこたデータを分析したところ、「BA.5」に感染した人と「BA.2」に感染した人との間で、ワクチンの効果に大きな違いはなかったと報告している。

②感染した場合の重症化

感染したかどうかについてWHOは6月22日の週報で「BA.1と比べて変化している情報はない」としている。

6月13日の報告で、デンマークは、ロシアはまだ限られているとした上で、ヨーロッパ疾病予防管理センターは、ワクチンが疾病の重症化を防いでいるほか、感染した場合に重症化しやすいかどうかについて